

第15回教育課程編成委員会 議事録

日時：2020年8月18日（火）14:00～15:00

場所：下関福祉専門学校

出席者：河本 由美（山口県介護福祉士会 会長）
山本 美佐枝（社会福祉法人 下関市社会福祉協議会 在宅福祉課長）
河田 洋治（社会福祉法人 菊水会 参与）
関谷 豊（下関福祉専門学校 校長）
田中 満由美（下関福祉専門学校 教務部長）
藤岡 恵子（下関福祉専門学校 教務主任）
長本 幸子（下関福祉専門学校 専任教員）
盛重 美恵子（下関福祉専門学校 専任教員）

（敬称略）

- 議題
1. 今年度の状況報告
 2. 今年度の教育目標
 3. 「福祉と文化」の特別授業について
 4. 各委員からの意見要望

1. 今年度の状況報告
 - ・今年度入学生は25名、その内ベトナムからの留学生は8名である。この8名は、各法人が受入をしている。
 - ・コロナ禍、学校行事は延期しており、2年生の2段階実習も施設実習を校内演習に代替した。しかし、実習は卒業に関わるものであるため、各施設に依頼し9月に3段階実習を実施する予定である。
 - ・来年度は、留学生受入を20名予定していたが、コロナ対策により入国が困難になっているが、その内半年前に入国した7名については入学を予定している。
 - ・留学生受入が2年目となるが、在学中の留学生は優秀な学生が多い。
2. 今年度の教育目標
 - (1) 介護福祉士として誠意を持って尊厳を守る介護を行うことができる
 - 1 学年 人間の本質に対する認識を深め、尊厳を守る介護とは何かを理解することが出来る。
 - 2 学年 介護実習にて、尊厳の保持、自立支援の介護を意識的に行うことが出来る。
 - (2) 介護を必要とする人のニーズをくみ取り、自立支援の介護過程の展開が出来る。
 - 1 学年 介護を必要とする人の生活のしづらさを理解し、できること、できないことを把握し、潜在能力が発見できる。
 - 2 学年 多様化するニーズに対応し、本人の望む生活を支えることのできる介護過程の展開ができる。
 - (3) 利用者、家族だけではなく多職種協働に欠かせない記録を、的確に記述することができる。
 - 1 学年 基本的な記録技術を習得できる。
 - 2 学年 あらゆる人に対し、的確でわかりやすい記録を記述することができる。

・委員からの質疑および意見

・委員からの意見

- ・「尊厳」は頭の中では分かっているが、現場では誰が主役であるかをしっかり理解する必要がある。
- ・尊厳の中に「接遇」も含まれている。クラスの中でもありえることで、日頃からけじめをつけるためにも身に付けておくと良い
- ・介護職の負担である「記録」を捉えているので良いと思う
- ・「本人の望む生活を支えることのできる介護過程の展開ができる」には、利用者の心を読み取れる介護福祉士になってもらいたい、利用者の思いと家族の思いの違いがあるので、なかなか難しい。

Q：「基本的な記録技術を習得することができる」とは具体的にはどういう意味なのか。

A：記録、レポート作成、実習日誌等において、記録の基本である 5W1H を用い記録が書けることを目標にしている。

3. 「福祉と文化」

委員からの意見

- ・昭和の歌や唱歌は、とても現場で必要だと思う

Q：学校で言葉にしにくいところのケアやメンタル面はどのようにしているのか。実習という違った状況からストレスが起き、実習を休みがちになる。ストレスマネジメントのような講座もあればよいのではないだろうか。

一A：専門家の講義はないが、介護の基本での授業で行っている。

今年から実務者研修において、試験的に「ストレスマネジメント」の講座で臨床心理士による講義を6ヶ月間行っている。

- ・当施設において利用者には生活指導員があり、職員にもある。例えば、セクハラに関し利用者の尊厳を重視して自分は我慢しなくてはならないという職員もいる。そうすれば利用者のエスカレートに繋がる
- ・職員にハラスメントに関してマニュアルを作成し話しもしてある。窓口もあり、個人に対してもTEL・メールで応答している。

Q：成年後見制度については、学校で学んでいるのか。

一A：「社会の理解」「介護の基本」「法と人権」のそれぞれの科目で授業をしている。

4. 各委員からの意見要望

Q：ベトナム留学生の生活状況にコロナの影響はないだろうか。社会福祉協議会から生活に困窮される方には生活資金の貸付ができる。他の大学や外国語学校の学生が多く利用している。現在下関市の貸付額は2億円（7月末）である。

A：1年生の留学生8名の内、4名特養、4名コンビニと特養でアルバイトをしているため生活に困窮しているとの話は聞かない。また2年生も4名いるが困窮の話は聞かない。

Q：レクリエーションの授業は必要だろうか。

A：職員数が少ないため、行事として外部からのレクリエーションを行っており、大きな行事は減っていつている。しかし、現在コロナ禍で外部からの委託が減ってきているため、職員間でレクリエーションを模索中である。

次回委員会開催の日程について

令和3年3月中旬開催予定